

藤田 泰宏 さん

まずは MMC の前田先生を始めとする講師の先生方には多大なご支援を賜り合格に導いて頂いたことに心より感謝申し上げます。

■ 中小企業診断士を受験した動機と経緯:

私は大学卒業後、総合商社の食料事業本部で食品原材料の輸出入に携わってきました。45 歳頃に事業本部内の経営企画部門に異動し、事業本部の経営管理全般に係わることになりました。このとき、事業計画の作成や予算管理、関連企業の管理等のマネジメントに係る知識が必要となりました。更にマネジメントセオリーを体系的に理解したいとの思いが、中小企業診断士試験の学習の動機でした。

学習を始めたのは平成 13 年の頃で、1 次は大手予備校の通学コース、平成 14 年 2 次は MMC の通学コースを履修しましたが合格せず、更に平成 15 年 1 次は MMC の通学コース、平成 16 年 2 次は MMC の通学コースを受けましたが合格できませんでした。

丁度その頃、勤務先の総合商社が経営破綻し、平成 16 年 10 月に現在の勤務先の通信教育の会社に転職を決意したことを機に学習を断念しました。その後、6 年半程の歳月が流れましたが、合格できなかったことの悔しさが沸々と沸き上がり、仕事にも慣れてきたので平成 22 年 3 月より再度診断士へ挑戦を再開しました。

■ 学習時間:

三島まで新幹線通勤をしていますので、平日は新幹線の中で往復 2 時間弱、帰宅後は、1~2 時間学習し、週末や休日は、6~8 時間学習しました。このペースだと週平均 20~25 時間で年間実績は約 1,200 時間でした。加齢による記憶力、体力、反射神経の衰えを、同じ問題を何度も時間をかけて繰り返すことでカバーしました。

■ 1 次試験対策の学習:

上記の通り過去に一度学習の経験がありましたが、6 年半のブランクでかなり忘れてしまい、再度一から映像コースや e ラーニングを活用して独学でやり直しました。映像講義の良かった点は、理解できるまで繰り返し聴講できるところでした。また、通勤などの移動中でも細切れ時間を活用して学習できました。ある程度理解が進んだところで、過去 6 年分の過去問を繰り返し解き、基本問題を確実に得点し奇問・難問はパスする方針を採りました。

学習を再開した平成 22 年度は、半年の学習で、企業経営、運営管理、中小企業経営・政策で科目合格し、翌平成 23 年には経済、情報の科目合格、平成 24 年には、財務、法務、企業経営、運営管理を受験し、漸くトータルで 1 次合格しました。学習再開後約 2 年半で 1 次合格しました。

■ 2 次試験対策の学習:

1 次を合格した平成 24 年度の 2 次は、評価が ADAA/B で不合格でした。しかし、平成 25 年度は、MMC の 1 月からの通学コースに集中し、学習再開後 2 度目の 2 次受験で終に合格することができました。思い立ってから約 13 年の歳月が流れていました。学習再開後は、1 次から 2 次合格まで通算すると約 3 年 8 カ月かかったこととなります。

これまでの2次不合格の原因は、先ず中小企業のことを知らなさ過ぎたことにあると思います。総合商社に26年間勤務し、大企業のぬるま湯にドブツリ浸かり、国内中小企業の実態については認識不足でした。また、2次試験対策ではMMCの指導に素直に従わず我流に拘っていたことも反省点でした。このことに漸く気が付いたのは、平成25年度1月にMMC2次通学コースを始めたころでした。頭を切り替え、徹底的にMMCの学習ガイダンスの通りに学習することにしました。

その結果、私は、先ず設問から読み、設問間の余白に思いついた標準的な切り口、因果、キーワード、括りの言葉等をメモ書きしました。次に自分の経験や思いつきに囚われることなく与件を読み、事例の骨(題意)を思考し方向性を決めました。ここまで約30分で終わるように何度もタイムトライアルをしました。残り50分でできるだけ与件文を活用して答案を組み立て、解り易く書くことに留意しました。つまり、答案が採点者にどう判断されるかにも注意を払い、自分の思いや経験からくるユニークなものではなく与件から導かれる常識的な解り易い答案を心掛けました。ロジカルで演繹的なアプローチは正攻法ですが、私の能力では80分で合格答案を書き上げるにはかなり無理がありました。そこである程度仮説に基づく帰納的なアプローチも意識しました。

また、MMCの学習ガイダンスの通り愚直に2次の答練や過去問の再答案を80点レベルになるまで何度も提出しました。最後まで根気よく丁寧に添削して頂いた先生方のご苦勞には本当に頭の下がる思いです。この再答案をトコトンやることで最後には80分で合格答案を書く力がついたと思っています。

また、MMCの模範解答はどの事例を取っても同じ鉄則に基づいて導き出されていることを見出しました。決して天才的な閃きは必要なく、常に標準化された解き方で確実に時間内に合格答案が作れると感じています。

更にMMCの2次試験合格に向けての取り組み方は、コンサルタントして必要な資質を養成するためにも洗練されていると思います。つまり、企業診断や経営改善の本質的なアプローチを身に付けるための考え抜かれた指導を受けることが出来たと感じています。

■合格の喜び:

この試験は、答案用紙には、受験番号と解答しか記述できません。つまり、学歴、性別、年齢、役職など一切関係ないとてもフェアな試験だと思います。そして合格は、1次、2次、口述試験を通して100人中約3~4人に選ばれたことを意味しています。このことを素直に喜び、自らの誇りとし、更には第二の人生に向けた活力の源泉としたいと思います。

まだまだ言い尽くせないことが沢山ありますが、紙面の関係で一先ず筆を置きます。一度は中断した中小企業診断士の学習を諦めずに再開し、MMCの指導を信じて実行し合格できて本当によかったと思います。

以上